

4. 社会貢献活動

三ツ星ベルトグループ従業員は、ボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、会社と共に社会貢献してまいります。

ふれあいイベントの開催

— 地域とともに —



地域に根ざした企業として、協議会では「住民と企業の共生によるまちづくり」を目指し、三ツ星ベルトグループ従業員のボランティアスタッフによる「ふれあいイベント」を地域の子どもたちを招いて開催し、住民との交流を深めています。イベントは従業員の手作りで、活動資金は従業員からの寄付でまかなわれています。

住民と企業が共生するまちづくり

— 緑のまちへ —



神戸市長田区南部を緑あふれる街にするため、区民・行政・企業が一体となって緑化に取り組む活動です。三ツ星ベルトもこの運動に賛同し、2017年神戸・長田たなばたまつりから、どんぐりなどの苗木の植樹を開始し、緑化活動を推進しています。

子どもたちの未来を応援

— 世界の子どもたちに愛の手を —



世界中では依然として戦争、自然災害、貧困などにより、年間530万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。三ツ星ベルトは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、これら子どもたちのお役に立てればと、従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付金贈呈を毎年継続しています。また、子どもたちの未来を応援するこの活動は、国内各事業場にとどまることなく、海外拠点にも展開しています。

防災への取り組み

— 災害に負けない —



1995年1月に発生した阪神淡路大震災では、三ツ星ベルト従業員で構成する自衛消防隊約60人がいち早く火災現場に出動、地域住民と協力して延焼をくい止めました。また、地域の被災者約400人の避難所として、4ヶ月間に渡って会社所有の体育館を開放するなど、地域とのつながりを深めてきました。この助け合いの精神が、地域との協力による防災に、今なお息づいています。

三ツ星ベルトふれあい協議会の活動

◎ ふれあいイベントの開催

三ツ星ベルトグループは「住民と企業が共生するまちづくり」を進め、「三ツ星ベルトふれあい協議会」結成後、各地でイベントを毎年開催しています。2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送りましたが、引き続き地域の皆さまとの交流を進めてまいります。

【神戸本社・事業所(神戸市長田区)】 わたしたち、みんなピッカピカの子どもたち(4月)

真野地区の小学校に入学した新1年生を招待して、入学をお祝いする会を開催しています。地元の警察署や消防署の協力による交通安全指導や、子どもたちの歌の発表、屋外では白バイやミニ消防車に乗って記念撮影など、子どもたちの健やかな成長を祈っています。



たなばたまつり(7月)

地域に隣接する神戸市営地下鉄海岸線が2001年の7月7日に開通したことを祝って始まった、たなばたまつり。綾部事業所がある京都府綾部市から笹の寄贈を受け、周辺道路は願い事が書かれた笹飾りで華やかに彩られます。特設ステージでは、子どもたちによる歌や踊りが披露され、会場内には地域住民や三ツ星ベルト従業員が思い思いに企画した数多くの屋台が軒を連ねます。四国工場がある香川県さぬき市からはさぬきうどんが、京都府綾部市からはあゆの山賊焼きが毎年来場者に振舞われ、今では神戸・長田の夏の風物詩となっています。



ふれあいクリスマス会(12月)

地域住民を招待してクリスマス会を開催しています。子どもたちの歌や踊りが披露され、ボランティア参加の従業員が扮したサンタやトナカイが会を盛り上げ、子どもたちにプレゼントを手渡します。フィナーレは参加者全員でクリスマスソングを大合唱します。



【東京本社(東京都中央区)】 ミュージックサロン(年2回不定期)

震災復興にあたって多くの方からサポートをいただいたお返しをしたいと、東京で入場無料のコンサートを開催しています。観客の音楽ファンのみならず、出演する若手の音楽家の皆さんには、一流のコンサートホールで演奏する機会として喜ばれています。



【四国工場(香川県さぬき市)】 さぬき手打ちうどんと地引網 体験会(5月)

四国工場に隣接する海岸での地引網と、さぬきうどんの手打ち体験会を開催しています。神戸本社や綾部事業所からもバスを連ねて大勢参加し、普段できない貴重な体験が喜ばれています。



【綾部事業所(京都府綾部市)】 あゆのやな漁 見学会(9月)

綾部市を流れる由良川で、期間を限って行われる伝統漁法「あゆのやな漁」を見学する会を開催しています。神戸本社や四国工場からもバスを連ねて参加し、川に仕掛けられた「やな」に打ち上げられて飛び跳ねるあゆを手づかみで捕まえようとする子どもたちの歓声が絶えません。



◎ 住民と企業が共生するまちづくり

【神戸市長田区南部区民の想い育む緑づくりプロジェクト】

“神戸市長田区南部区民の想い育む緑づくりプロジェクト”に賛同し、京都府綾部市、香川県さぬき市のご協力を得てわたしたち「三ツ星ベルトふれあい協議会」はこの活動に取り組んでいます。



【“学校ビオトープ”の支援】

三ツ星ベルトふれあい協議会は、社員のボランティアで兵庫県下の教育施設に100ヶ所以上のビオトープ（生物生息空間の池）設置に協力しました。



◎ 子どもたちの未来を応援する活動

【日本ユニセフ協会への寄付金贈呈】

「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子どもたちへの支援活動を行っています。

阪神・淡路大震災で三ツ星ベルトの本社がある神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。歳月が流れるとともに災害に対する当時の記憶は薄れつつあります。しかし、世界中では依然として貧困などによって、年間530万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会※に対する寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。

※ユニセフ (UNICEF) : 国連児童基金

当社は2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」をスローガンに募金活動を実施し、毎年日本ユニセフ協会に寄付を行ってきました。今回この活動が評価され、紺綬褒状を受章しました。

We Support



【関係自治体(兵庫県・神戸市・綾部市・さぬき市)への電動アシスト自転車寄贈】

創業100周年記念式典で行われた「世界の子供たちに愛の手を」の活動で、当社製タイミングベルトが採用されている自転車(電動アシスト車)を兵庫県、神戸市、綾部市、さぬき市の各自治体を通じて、児童福祉施設に計200台寄贈しました。実際に自転車を使用した施設の子供たちから、たくさんの心のこもったお礼の手紙をいただきました。



◎ 社会貢献活動 (海外関係会社)

海外関係会社でも「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子供たちへの支援活動を行っています。当社主力工場のあるタイとインドネシアではこれまでに支援活動を行ってきた幼稚園・小学校の子供たちを工場に招待して、日本の「祭り」の雰囲気を感じてもらいました。また、地域社会との協業による環境保全活動も行っています。

SEIWAまつり(インドネシア)



STIまつり(タイ)



タイでのCSR活動

タイのSTARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITEDは、子供たちへの支援活動を中心にさまざまな活動を行っています。

2019年1月
小学校の教室や校庭の改修活動。



2019年1月

学校で開催されたこどもの日の活動に参加し、子供たちにゲームや食事を楽しんでもらいました。



2019年3月

小学校で子供たちにバッグと文具セットをプレゼントしました。



2019年9月

工業団地の企業と協力してチョンブリ地域の緑化活動に参加。



2019年10月

地域のお祭りで子供たちを楽しませるためのゲームブースを出店。



◎ 防災への取り組み

地域との協力による防災(防災訓練)

三ツ星ベルトでは、事業場ごとに毎月一斉防災訓練を行うなど、従業員の災害に対する意識向上を図っています。

阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、消防署の協力を得てスケールアップした総合防災訓練を毎年行っています。(2020年は1月22日に実施)

訓練は震度6強の地震が発生したことを想定しています。近隣の方々も参加し、避難訓練、負傷者救助訓練、炊き出し訓練を定例訓練として行っています。また、バケツリレー、土嚢積みによる浸水防止訓練、応急担架による負傷者搬送訓練なども行っています。



神戸事業所の広告塔解体・撤去

神戸事業所の広告塔は、1959年に設置されてから約60年が経過しました。1995年の阪神淡路大震災でも倒壊することなく、被災地に向かうボランティアの目印となり、以後復興のシンボルとして親しまれ、長年にわたって地域を見守り続けてきました。過去に耐震補強を実施し、耐震性及び耐風圧性は現行の基準値を満たしていましたが、ここ数年多発している大規模な自然災害に備え、近隣の皆様方にもご心配をお掛けしないように、断腸の思いで解体撤去しました。

2019年に広告塔に設置した防災行政無線の屋外スピーカーを残し、今後も地域の防災に役立ててまいります。



震災後の新長田に佇む広告塔



社屋を避難所・救護所として開放



広告塔に取り付けられた防災行政無線の屋外スピーカー



在りし日の広告塔



広告塔解体工事中



現在の姿

◎ その他の活動

GPSプロギングに参加

一般社団法人「Ondo (地球環境にアイデアとアクション)」とGPSランナー志水直樹さんとのコラボで毎月行っている「ゴミ拾いしながらのジョギング+GPSアプリの軌跡で絵文字を描く『GPSプロギング』」に当社社員が参加しました。空き缶やペットボトルはもちろん、煙草の吸殻の多さには閉口しました。計画のルートを制覇するとGPSでその軌跡が示される仕掛けになっており、この日は「キレイ」でした。



【イベントの様子】



外部講師によるSDGsセミナーを開催

「なぜ企業がSDGsに取り組むのか」の視点から、会社としてSDGsに取り組む意義、社内実践について、いかにしてSDGsを社内で浸透させたか、の内容でご講演頂きました。SDGs、ZEB、ESGなどの言葉の違いを踏まえ、一つひとつ分かりやすく説明して頂くことでSDGsがより身近に感じるものとなりました。

